

ＯＢＤ検査／確認における注意点等のお知らせについて  
【ＶＣＩコネクタ接続不良によるＤＴＣ検出関係】

ＯＢＤ検査プレ運用期間中に一部の車両において、ＶＣＩコネクタの接続不良によりＤＴＣが検出される件について、一般社団法人日本自動車工業会よりＶＣＩコネクタ接続時の注意点や、接続不良によりＤＴＣ検出の可能性がある車両情報等（下記参照）を取りまとめた資料の提供がありましたので、別添のとおり、お知らせいたします。

記

■別添資料内容の補足

ＯＢＤ検査対象車両：ＤＴＣ検出の可能性がある車両を記載

ＯＢＤ検査対象外車両：ＤＴＣ検出の可能性が無い車両を記載

# OBD検査/確認を実施する際にご注意いただきたいこと

OBD検査/確認を実施する際は、各整備工場にて車両診断コネクタへ車両通信インターフェース（VCI）コネクタを確実に接続する必要があります。確実に接続するためには、以下の点にご注意ください。

- 接続する前に、車両診断コネクタ/VCIコネクタに端子折れや曲がり、端子の口開き、コネクタ勘合面に異物噛み込み、割れや変形等、嵌合不良を生じる不具合が無い点検すること。



- VCIコネクタを車両診断コネクタにしっかりと奥まで差し込むこと。

※特定DTC照会アプリ操作マニュアルに記載されているように、特定DTC照会アプリにてOBD検査要否確認後、VCIを車両診断コネクタへ接続する前に車両の電源がOFFであることを確認してください。接続後、車両のエンジンをON（ハイブリッド車等はREADY）してください。



嵌合面に対して垂直に奥まで差し込む（ラッチがかかる事を確認すること）

- OBD検査/確認中、VCIコネクタに膝等をぶつけたり、VCIコネクタケーブルに足を引っ掛けたりしないこと。



膝等をVCIコネクタへぶつけないようにスペースを確保の上、作業して下さい

- VCIコネクタは確実な抜き差しを行っていたとしても繰り返しの使用によりコネクタ勘合面等に摩耗等が発生し、接触不良を引き起こす可能性があります。このため、OBD検査/確認を確実に実施するためには、使用状況より判断し、必要に応じて交換等の対応が必要となります。

## OBD検査/確認を実施する際にご注意いただきたいこと

- 車両診断コネクタとVCIコネクタ間で接続不良が生じると自動車の車載システムと通信できず、OBD検査/確認で必要となる故障コード（DTC）を自動車から読み出せません。
- また接続不良に伴い、車載システムとVCI間で通信異常が発生した場合、一部のOBD検査対象車\*では、車載システムが一時的に異常を検出し、警告灯が点灯したり、DTCを検出する可能性もあります（故障ではありません）。
- その為に、車両診断コネクタへ車両通信インターフェース（VCI）コネクタを確実に接続する必要があります。
- 万が一、接続不良が要因で警告灯やDTCを検出したことが考えられる場合は、サービスマニュアルに沿って適切な処置をお願いします（車両、警告灯、DTC等の状態確認、DTC消去等）

(\* 一部のOBD検査対象車)

自動車メーカー	商品名	備考
スズキ(株)	アルト	
マツダ(株)	キャロル	スズキ・アルトのOEM供給車
いすゞ自動車(株)	ギガ	

# プレ運用実施にあたって

車両診断コネクタとVCIコネクタ間の接続不良に伴い、車載システムとVCI間で通信異常が発生した場合、一部のOBD検査対象外車では、車載システムが一時的に異常を検出し、警告灯が点灯したり、DTCを検出する可能性もあります（故障ではありません）。接続不良が生じて、警告灯点灯、DTC検出の可能性が無い車両は下記の通りです。

自動車メーカー	対象車両	見分け方
トヨタ自動車(株)	2017年以降の「Toyota Safety Sense（レクサスはLexus Safety System +）」もしくは「プリクラッシュセーフティシステム」を搭載する車両	搭載有無の見分け方は、「修理書や取扱い説明書」もしくは、「実車でフロントガラスへのカメラ装着有無」で確認可能
OEM車	86（21MY以降の車両）、ライズ/タンク/ルーミー/ピクシスジョイ/ピクシスメガ/ピクシスバン/ピクシストラック/タウンエース/パッソ（2020年12月以降の車両）	
本田技研工業(株)	2020年以降のフルモデルチェンジ、ニューモデル車	
日産自動車(株)	日産カーラインナップでビジネスカーにラインナップしている車両を除く、2020年12月以降の車両	<a href="https://www.nissan.co.jp/CARLINEUP/">https://www.nissan.co.jp/CARLINEUP/</a>
(株)SUBARU	「Eyesight」最新版、「SUBARU Safety Sense」を搭載する車両 ※BRZは上記Eyesightの最新版の装着有無ではなく、21MY以降の車両	Eyesight 最新版の外観上の見分け方 -カメラがフロントガラスについている（カメラの個数によらない） -カメラの切り口が三角となっている
OEM車	ジャスティ/ステラ/サンバーバン/サンバートラック/シフォン/レックス（2020年12月以降の車両）	
マツダ(株)	最新版のマツダコネクタ搭載車両	<a href="https://www.mazda.co.jp/carlife/mazda-connect/v2/">https://www.mazda.co.jp/carlife/mazda-connect/v2/</a>
OEM車	フレア/フレアワゴン/フレアクロスオーバー/ボンゴバン/ボンゴトラック（2020年12月以降の車両） 「プリクラッシュセーフティシステム」を搭載するファミリアバン/ボンゴブローニバン（2018年6月以降の車両）	
三菱自動車工業(株)	デリカD5、タウンボックスを除く、21MY以降の乗用車の車両	
スズキ(株)	スペーシアベース、キャリイ、エブリイ/エブリイワゴンを除く、2020年12月以降の車両	
OEM車	ランディ（2021年以降、2022年6月までの車両） ランディ（「Safety Sense」を搭載する2022年7月以降の車両）	
ダイハツ工業(株)	ミライース、コペンを除く、2020年12月以降の車両	

# プレ運用実施にあたって

車両診断コネクタとVCIコネクタ間の接続不良に伴い、車載システムとVCI間で通信異常が発生した場合、一部のOBD検査対象外車では、車載システムが一時的に異常を検出し、警告灯が点灯したり、DTCを検出する可能性もあります（故障ではありません）。接続不良が生じて、警告灯点灯、DTC検出の可能性が無い車両は下記の通りです。

自動車メーカー	対象車両	見分け方
三菱ふそうトラック・バス(株)	4気筒エンジンの中型トラックを除く、2020年以降のトラック 大型路線バスを除く、2020年以降のバス	<a href="https://www.Mitsubishi-fuso.com/ja/products/">https://www.Mitsubishi-fuso.com/ja/products/</a>
日野自動車(株)	2017年7月以降の大型トラック/中型トラック/大型観光バス 「プリクラッシュセーフティシステム」を搭載する2017年以降の小型観光バス 2tクラス・電気自動車を除く、2021年10月以降の小型トラック/中型観光バス 2022年6月以降の電気自動車の小型トラック	<a href="https://www.hino.co.jp/products/">https://www.hino.co.jp/products/</a>
UDトラックス(株)	2017年4月以降の大型トラック 2020年以降の小型トラック	<a href="https://www.udtrucks.com/japan">https://www.udtrucks.com/japan</a>
いすゞ自動車(株)	2017年7月以降の大型観光バス 2021年10月以降の中型観光バス	<a href="https://www.isuzu.co.jp/product/">https://www.isuzu.co.jp/product/</a>